



開館一周年記念

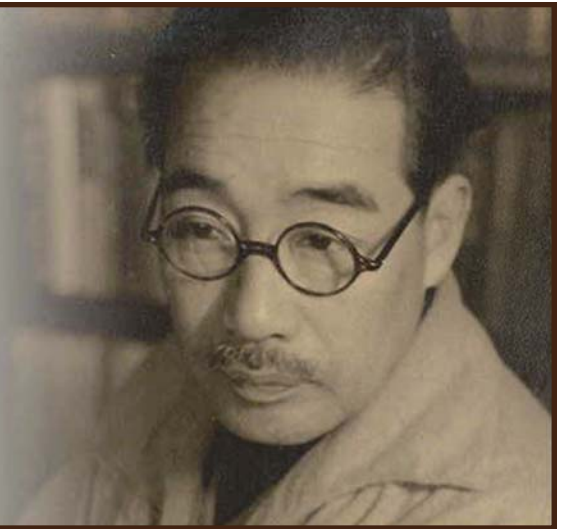
～不思議で美しいわらべ歌で遊ぼう～

北原白秋展

江口弘喜コレクション

平成30年4月6日(金)～5月30日(水)

北原白秋と山田耕筈の直筆作品22点 (初公開)



北原白秋 (1885～1942)



明治から昭和初期まで日本を代表する詩人・歌人・童謡作家として活躍した北原白秋は、明治18年、酒造業北原家の長男として今の福岡県柳川市沖端町おきはたに生まれました。本名は北原隆吉りゅうきち。

生涯にわたって残した全著作は、200冊にのびります。白秋は大正14年、武彦が発起人となった「アンデルセン没後五十年記念お伽祭」に協力し「アンデルセンの晩」を作詞（山田耕筈作曲）、昭和5年には武彦が発起人となった「阿礼祭」にも協力しました。

山田耕筈 (1886～1965)



日本最初の作曲家であり指揮者として知られる山田耕筈は、日本のクラシック音楽の黎明期を支えた日本を代表する作曲家です。北原白秋と共同して数多くの国民的歌謡、童謡、校歌などを創作しました。また、「赤とんぼ」

や「この道」「待ちぼうけ」など、一度は口ずさんだことのある懐かしい童謡を100曲以上も残しました。

武彦とは関西学院の同窓生で、生涯にわたって家族ぐるみの親交がありました。

ボランティアを募集しています

それぞれができることを、出来る範囲でお手伝いしていただき、一緒に記念館を育てていただける方をお待ちしています。詳しくは、久留島武彦記念館までお問い合わせください。

圃久留島武彦記念館 ☎(73) 9200

メール kurushima@town.kusu.oita.jp

